

コールセンター Q&A

Q101

腎機能評価の計算項目は推算 GFR(eGFR)と推算クレアチンクリアランスのどちらを用いても良いですか。

A101

推算 GFR(eGFR)と推算クレアチンクリアランスは血清クレアチン測定のみで腎評価できる簡便な計算項目であり、どちらも糸球体濾過量を計算しています。ただし、計算式の特性上、以下の通り使用目的が異なります。

①推算 GFR(eGFR)

<主な目的は CKD の診断>

腎機能評価のための計算式であり、日本人の平均的な体表面積に補正された数値となります (基準範囲の設定のため)。従いまして、腎機能低下時に注意が必要となる薬剤の投与量の設定には使用できません。

②推算クレアチンクリアランス

<主な目的は薬剤投与量の設定>

腎能力評価のための計算式であり、実際のその患者の糸球体濾過量の数値となります。

これらの計算式では、血清クレアチンを用いるため、極端に筋肉量が減少している患者では、数値が過大評価される可能性があるため注意が必要です。

お問い合わせ：☎代表 0120-14-7191(フリーダイヤル) / 担当 生化・免疫係

*ウェブページでもご覧いただけます。 <http://www.labo.city.hiroshima.med.or.jp/>

きやうちボール

今回は、特集として疾患別検査ガイド糖尿病2018学術講演会報告を掲載致しました。この学術講演会の開催目的は、疾患別検査ガイドの有効活用に加え、疑問点をディスカッションすることにより、日常診療に役立てられる情報を提供することです。

この6月号が先生方のお手元に届くころには、骨粗鬆症2019学術講演会(6月14日開催)が終了しています。また、現在作成中の高血圧についても年内に学術講演会を開催する予定です。ご多忙とは存じますが、ぜひご参加いただければと思います。

今後も先生方の日常診療のお役に立てるよう、疾患別検査ガイドを引き続き発刊していく予定ですので、ご意見、ご指導の程よろしくお願い致します。

柘本 健 (検査科技師長)

<広報委員> 谷敷 圭美 / 石田 啓 / 柘本 健 / 大田 彩咲日